

# 同窓会報

第 24 号

平成19年7月20日

発行 泉松陵同窓会  
宮城県高等学校  
〒022-373-4125

印刷 印刷出版(株)  
創文印刷出版  
〒022-222-0181



## 歴史を見る日

校長 大橋 俊夫

歴史とは何でしょうか？ 簡単に言う人間がたどった時間と空間の足跡です。

諸君が生まれてから現在まで、家族や知り合い、写真やビデオなどでたどることは可能でしょう。それが諸君の歴史です。ここでは個人が中心ですが、市町村、県、国のように規模が大きくなると、一握りの人物しか固有名詞では登場しません。例えば、泉松陵高校の歴史(校史)には、部活動や生徒会などで頑張った生徒の名が出てきますが、多くの生徒は名前が登場しません。「歴史に名を残す」「歴史に埋もれる」といった言い方があります。歴史上著名な働きをした人物が名を残し、ほとんどの人物は埋もれています。

人間の業績は歴史の一場面ではありませんが、全てではありませんね。そもそも人間の集団が一定の決まりの下に生活している状態が「社会」であります。社会を効率的に動かす仕組みが「法律」「組織」などでしょう。どちらにも作った人がおり、運営する人がいます。

小学校の時など「法隆寺を作ったのは誰ですか」といった質問に「聖徳太子」と答えると「ブー、大工さんです」といった会話をしたことはありませんか。歴史では計画や企画した人が作った人となりますが、現実では大工さんですね。歴史の見方の一端がここにはあります。

それでは、歴史とは過去を学ぶことでしょうか。「温故知新」という言葉があります。「過去を調べて現在を知る」という意味です。これは歴史を学ぶ意味を言い表しています。歴史とは過去の足跡を通して現代を知ることです。人間と同じように社会は一定の方向に向かって進んでいます。人間の今日が昨日とつながっているように、社会も過去とつながっています。過去の社会の動きは現在の社会を作るための動きだったので。今の政治は、今の経済は、今の教育は、今まで(過去)の流れの中から読みとれます。ということは、過去から現在までの流れを知ると、

未来の予想も可能になります。要するに、今の政治や経済の動きを知れば、どういった方向に進もうとしているかが予見できます。

歴史は現在を知ることに加えて、未来(将来)を予想することです。それでは、なぜ人によって歴史の見方が違うのでしょうか。歴史とは「事実」の積み重ねです。僕は大学時代歴史を学ぶときに「事実を以て歴史を語れ」と言われました。ところが事実の一つでも、その解釈、す



## 母校を思い出す

同窓会長 13回生 小野 裕介

私が高校を卒業して十年以上経ちました。十年一昔と言いますが高校時代はつい最近の事だったように感じています。高校卒業後、友人達は全国各地、そして世界へと旅立っていききました。家族よりも多い時間をすごした仲間達は、今ではそれぞれ色んな場面で活躍しています。

卒業してしまおうと母校の情報はなかなか分かりません。それどころか毎日の生活の中では母校の事を思い出す機会もあまりないでしょう。

情報が溢れている時代ではありませんが、溢れているからこそなかなか気づかない、思い出さない事も多いと思います。ある日、新聞を開きました。六月のはじめなのですが高校総体が開催されていました。卒業し

なわち真実は、考える人によって、何通りにもなり、ここに何通りかの歴史が出てきます。歴史とは見る人の解釈によって違うのです。

泉松陵高校は開校から二十七年が経ちます。これまで卒業生が築き上げた歴史はその流れに沿って、未来に向かっていきます。卒業生諸君無しには現在も未来も無いのです。諸君に感謝するとともに、未来にこれからも関わって頂きたいと思えます。

て何年たっても同じ行動をしてしまっています。新聞の競技結果の中から「泉松陵」の文字を探していました。活躍した後輩達はいないか、自分の部活はどうなったか、在校生だった頃強かった部活は今でも強いのか。色々な思いで母校を思い出しています。私に限らずこのような思いで後輩達の活躍を期待し、母校を思い出した人も多いのではないかと思います。

インターネットのサイトの中に、ソーシャル・ネットワークサービス「mixi(ミクシイ)」というサイトがあります。このサイトはすでに参加している友人等知り合いから直接紹介してもらうことで参加出来るサイトで、そのサイト内には、趣味や

興味関心ある事柄、所属に関してと様々なテーマについてみんなでコミュニケーションを楽しむことが出来る「コミュニティ」があります。

その中に「泉松陵高校」のコミュニティがあります。その数はどんどん増え1回生から25回生まで五〇〇人近くの人が参加しています。このコミュニティ内では各自様々なテーマを取り上げいろいろな話が出来ます。連絡が取れなくなった友人に思わず再会、部活の先輩、後輩がいる、なんてこともあります。私も参加しています。同級生と再会し、連絡が取れるようになるなど、楽しみも増えました。

今年度も八月十一日に同窓会総会が開催されます。一昨年、昨年と「ホテル白萩」で開催されましたが、多くの方々が出席され旧交を温めました。泉松陵という共通のコミュニティに集うことにより、共通の話題、思い出が蘇って来るのではないかと考えます。同窓会に出席することによって新たな出会いや発見があるかもしれません。年齢が違っても「同窓生」ということは同じです。新しい友人や仲間を作ってください。是非多くの方々の参加をお待ちしております。

新聞の高校総体の記事では「弓道女子団体泉松陵初優勝」が大きく掲載され、またその日からmixi(ミクシイ)の中にも高校総体優勝のトピックが立てられていました。日常生活の中で母校を思い出す機会も増えました。

# ブリッジ

## 母校に戻って

第20回生 門間 洋介



私が松陵を卒業してから約五年が経ちましたが、自分がこのようになるうとはまったく思っていないでした。

松陵を卒業して五年が経ち、私は今、保健体育の非常勤講師として母校に戻ってきました。講師の口を捜がしていた時、指導して頂いた先生方に声をかけて頂きました。まさか、松陵で出来るとは思っていませんでしたのでとても驚きましたが、喜んで受けさせて頂きました。

今年の四月から体育と保健の授業をさせて頂いていますが、悪戦苦闘の毎日を送っております。私が在籍していた頃とは学校の様子も変わっていて、まず授業時間に慣れるのが大変でした。私の時は、五十分授業でしたが、今、松陵は六十五分授業です。慣れないこの間隔を掴むのにとても苦労しています。そして何より苦労しているのが、授業を行なうことです。私自身、三月まで「生徒の側」にいましたので、いざ「教師の側」に立ってみると予想していたよりもはるかに難しいことが分かりました。体育をやるのは得意ですが、「やる」と「教える」とではまるで勝手が違い戸惑っています。また特に、体育は生徒をうまく「動かす」

ことが大切です。動かし方がうまくいかなければ、授業を成り立たせることが出来ないからです。ですので、このことを常に意識して授業を行なっています。うまいかないこと

の方が多く、周りの先生方の指導を仰ぎながら授業を行なっています。松陵の講師になって三ヶ月が経とうとしていますが始めは一部の生徒としか話が出来なかったのが、ようやく学年問わず多くの生徒たちと話

ができるようになってきました。個性あふれる生徒たちと色々な会話が出来るので学校に行くことが楽しみになっていきます。

体育科の先生方をはじめ、多くの先生方にご指導を賜り、毎日がんばっています。明日も授業ががんばります。

## 教育実習生として

第21回生 亀山 亮子



泉松陵高校同窓生の皆様お元気でしょうか。私などが何にか悩みましたが、高校時代の思い出や教育実習の様子、在校生へ伝えたいことを中心に書きたいと思っています。

まず高校時代の思い出ですが、一言で言うと「本当に楽しかった」三年間でした。高校生活のなかで一番古い記憶は一年生当時、担任をもつてくださった吉田先生が入学式の日におっしゃった言葉なのですが、「三

年間無遅刻・無欠席で皆勤賞だと、すてきな記念品がもらえます。」私はこの言葉を聞いて、いったい何がもらえるのだろうか、三年間気になっていました。そこで三年間休まずに学校に通うことを目標にしたのですが、この目標はなかなか難しいと思います。すよね？

しかし、毎日楽しく高校に通っているうちにあっとい間に三年間は過ぎていき、なんと皆勤賞をいただいたのです。さらにここが泉松陵高校の素晴らしいところで、なんと私達の学年には約二〇人も皆勤賞がいたのです。そして記念品として何をいただいたかは、内緒にしておきます。これから皆勤賞をもら

う皆さんは楽しみにしてください。次に教育実習についてですが、最初母校での実習はとても不思議な感覚でした。高校当時は生徒として通っていた学校に、今度は実習生として戻ってきて教壇に立って授業をしているのですからね。

最後に在校生の皆さん、高校生活は人生のうちでたったの三年間しかありません。部活に励むもよし、たくさん友達をつくるもよし、とにかく楽しんでください。ただし高校生としての節度を守ることは大切ですよ。また、なぜ勉強をするのかという疑問をもっている諸君に、少しでも疑問が解ければと思い、ある先生がおっしゃった、今も私の心に残っているこの言葉を贈ります。「確かに

社会に出てから、数学や理科の公式は使わないかもしれませんが、しかし、学生の時に勉強をすることで培った思考力が社会では必要になります。だから勉強するのです。」

## 私の目標

第21回生 門間 紀枝



高校に入学したとき、生徒の多い学校は生まれて初めてだったため、とても緊張していました。友達ができるのだろうか、本当に三年間やっていけるのだろうか、その不安はいつしか消え去り、そんな一年生のときにできた友達は今では私の大親友となりました。一緒に古典の授業を頑張ったことは今でも覚えていて

います。三年生のときの思い出も多く、勉強もそれなりに頑張っていたと思いますが、クラスが別々になっても友達と朝早くから語り合ったり、手紙を書いてみたり、クラスの中にも面白い友達に囲まれ毎日笑って過ごしていた気がします。普段の私であれば感動し涙する卒業式のはずなのに笑顔で卒業を迎えました。勉強と部活を頑張り、友達と先生に恵まれ充実した三年間を過ごせた証だと思っています。

そして今年、泉松陵高校で教育実習を行うことができました。教育実習初日が近づくにつれ緊張と不安でいっぱいでした。いざ始めてみると驚くくらい速さで毎日が過ぎていきます。先生方の熱心な指導から学ぶこと、生徒から教えてもらうことがたくさんあります。そして、今回一緒に母校で教育実習を行うことができた実習生からの刺激を受け、支えられているということを実感しながら日々実習に臨んでいます。今回の教育実習のきっかけを作っ

## 目標を持ち続けること

第21回生 菊池 理沙



二週間の教育実習期間を終え、久々に山形に行くこと、もうすでに気温が三〇度近いことに驚かされました。仙台と山形間を通学するようになり二年ですが、未だに温度の違いには慣れません。隣同士の県であるにも関わらず気候は全く違い、山形に来た当初は本当に大変でした。今では、移り行く仙台と山形の四季の違いに楽しく接しています。

ここで私の大学生活について少し触れたいと思います。現在、私はお墓の研究をしています。お墓を始めて調査したときには、とても抵抗がありました。しかし、「元祿」など昔の年号が刻んであるお墓を見ると、これまで教科書の上に

てくれたのも泉松陵高校の先生方でした。その中でも私に一番影響を与えてくれているのは三年生の担任だった先生です。卒業証書を教室でもらったときにかけてくれた言葉を今でも忘れることができません。その言葉を目標に今まで頑張ってきたことができました。泉松陵高校で教育実習を行うことでその言葉は現実のものになり、目標をクリアしました。なので、私は早速次の目標を決めました。「自分の夢を叶え笑顔で先生に報告すること」です。小さな目標ですが、誰にも負けないくらい強い想いはあります。それが叶ったらまた新たな目標を考えようと思います。

しか存在しなかった歴史を目の前に感じる事ができました。お墓は過去に生活していた人の存在の跡だと理解し、お墓が身近なものになりました。今は陸軍墓地を対象として研究をしています。

そんな私は、大学進学を高校二年生の冬に決意しました。現在所属している東北芸術工科大学を知ったのは三年生になってからでした。その時は、本当に大学にいけるのかとても不安でした。しかし、三年生の時に学級担任だった河野先生を始め副担任の先生や進路指導の先生の強力なサポートのおかげで、AO入試に挑戦し合格することができました。高校時代の成績はあまり良くなく、部活で活躍していたわけでもない私でしたが、歴史を学びたいという気持ちを強く持って試験に臨みました。加えて、高校で何度も面接練習させていただけことが合格に繋がったと今では思っています。

大学進学を考えている人も、そうでない人も進路は一人で決めず、親や先生に相談し、自分にとって一番良い進路を決定して下さい。最後に、実習中に知ったことです。松陵高校と東北芸術工科大学の以外なつながりがあることに驚きました。それは松陵高校の大橋俊夫校長先生は、私の通う歴史遺産学科の入間田宣夫教授の高校・大学の後輩でしかも助手もしたということ。入間田教授は岩手県の平泉を世界遺産に登録すべく精力的に活動しています。今は穏やかで優しい教授ですが、ものすごく恐かったという話を伺い、本当に驚きました。

大学は他地域の人も交流ができ、たくさん意見に接することで自分の視野が広がります。勉強は大変ですが、ぜひ自分のやりたいことを見つけ目標とし頑張ってください。

### 高校での経験

第21回生 佐藤 大仁



今回私が教育実習のため、母校である泉松陵高校に戻って参りました。私の高校時代はふざけたもので、勉強せず部活だけを頑張っていました。そのため成績は良いほうではなく、進路もなかなか決まらない状態となっていました。しかし、ある信頼のできる先生と出会ったおかげで、今回教壇の上に立つことができました。私は高校入学後遊びたい気持ちの方が大きく、先生方やまじめに勉強している友達にはとても迷惑をかけていました。その節は申し訳ないと思っています。そんな中その信頼のできる先生から進路がどうなったのか聞かれた際に、まだ何も決めていないと話したところ、先生を目標してみないかと薦められました。知っている方もいると思いますが、私はバスケット部の部長を務めさせて頂きました。私の時代のバスケット部をまとめるのはなかなか難しく、何かしら問題が出てきてまとめるのに苦労しました。しかし、友達の協力もあり素敵な青春時代となりました。そのため自分に自信を持つことができ、教師になりバスケットを教えたいと思えるようになりました。そして宮城県内

に体育の教師を目指す大学は、仙台大学と宮城教育大学しかなかった。仙台大に入学しました。あつという間に四年生となり、教育実習もあと少しとなりました。何もできない私を面倒みてくれた先生方には本当に感謝しております。ありがとうございました。またいろいろと話し掛けてくれた生徒には、楽しい時間を過ごせたことを伝えます。私がいつも口癖にしている「思い出を忘れるな」この言葉の通り泉松陵高校での思い出は絶対に忘れてはいけないことです。泉松陵高校を卒業した皆さんも思い出を忘れずに頑張ってください。私はここでの思い出を糧に教員を目指したいと考えています。

### 人との出会い

第21回生 相澤 俊孝



最初このようにものを書くように言われ、何を書いたらいいのかわかりませんでしたが、今回は私の二十一年間生きてきた中での人との出会いが大切だということを書かせていただきます。

まず、人と出会うという形は色々あるかと思いますが、私は遊びの中で人と出会うことが多いのではないかと考えます。ですから、人と出会うためには色々遊ぶということも大事なのではないかと考えています。なぜなら、自分の趣味を楽しむ中で見ず知らずの人と出会うことが多いことや、飲み会の席なんかでも、見ず知らずの人達から色々面白い話を聞くことが出来ます。人と出会う

ということは、いろいろな人の意見を聞いて、自分を振り返ったり、成長させることだと思います。今の私があるのも色々な人達との出会いのおかげだと思っています。自分一人出来ることなど本当に小さなことではなく、多くの人と一緒にやれることはたくさんあると思います。だから人との出会いは大切だとつくづく感じています。しかし、出会いのすべてが良いものであったとはけっしていえません。良い出会い、悪い出会いかは自分で判断しなくてはなりません。それを自分で判断する力は必要だし重要だと思います。

私は小学校からずっと剣道をしてきました。十五年間剣道をしてきたわけですが、何度もやめようと思ったことがあります。その時、引き止めてくれたのは多くの友人であり、先生方でした。そのような人達と出会ってなければ、剣道を続けていることはなく何も目標を持たず一日一日をただ過ごしているだけの自分になっていたかも知れません。自分が苦しい時助けになってくれるのは、今まで出会った人達です。在校生の皆さんは是非多くの信頼できる友人を作ってください。また、新しい出会いをたくさん求めてください。同窓生の皆様にはこの会報誌を通じて、また新たな出会いがあることを願っています。

### 「縁」

第21回生 佐藤 由依

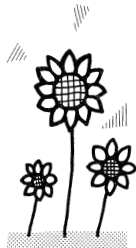


私が泉松陵を卒業して四年が経ち、今回、教育実習生として再び母校へ戻ってきました。私が通っていた頃には市名坂のヨークタウンは荒地で、たった四年で高校周辺は様変わりしたように思います。

二週間の教育実習はあつと言間に過ぎていったように思います。今回の実習生は計八人。二週間の人もいれば、三週間、四週間と期間は異なっていますが、お互いの授業実習の様子や生徒に関する話で盛り上がる事がしばしばです。ここで同じ実習生として会えたのも何かの縁だと感じています。一度もクラスが一緒になったことのない人、話したことのない人や顔見知りの人もいたり。事前指導の時に、他にはどんな実習生が来るのかな? と期待と不安を抱いていたのを思い出します。

実習生だけではなく、担当したクラスの皆とも縁があって実習をさせて頂きました。朝のSHR前から元気で、最初は圧倒されましたが実習で凹んでいても元気を貰っていました。

この縁を大切に、これから生かしたいと思っています。



### これまでとこれから

第21回生 鈴木 真代



私の高校生活といえは、勉強する意味がわからず、休みは多いし学校に来ても寝ている時間の方が多いようでした。学校にまじめに来るのは松陵祭にバンドで出るために練習するときだけでした。

そんな私は、ほとんど運で大学に進学しました。大学に入ったのは、社会に出るまでの猶予が欲しかったからという理由でした。しかし、大学入学のときに、「行くからには今までの分も勉強しよう」と思い、教職をとることをきめたのです。しかし、大学は想像よりも甘く、そして厳しく、一・二年で墮落していった私は、三年次で教職課程の単位のほとんどを取得したのです。そして無事に教育実習をさせていただくことができました。

母校に教育実習生として戻ってくることは自分でも驚きで、また、辛い部分もありました。在学していた頃を知っている先生からはものすごく心配され、叱られました。精神的にまだまだ子供だった私は、大人として・教師として存在することがどういうことであるか実感できず、どうしたらいいのかわからなかったのです。

しかし、人間とは素晴らしいもので、ある程度時間が経つと適応するのです。一週間の過ぎた頃に先生から「顔交わってきたな。教師らしくなってきた」と言っていたことができました。

これも、指導して下さる先生方のおかげだし、こんな私のことを「先生」(たまに「まよまよ」と呼んでくれる生徒がいたからだと思います。

これからまた大学生に戻り、卒業論文との戦いが始まります。また、子供に戻ってしまうこともあるかもしれません。その時は「先生」と呼んでくれた生徒たちの顔を思い出し、乗り越えていきたいと思えます。そして、生徒と再会する時は、本当の「先生」として再会しようと思えます。

### 教育実習生として

第21回生 遊佐久美子



また泉松陵高校に通えるとは思いませんでした。在学中の私は勉強よりもバンドに没頭していたので、あの頃の私からは想像もつきません。

私が教職課程をとるきっかけとなったのは一学年の時に学年主任をしていただいた先生の一言でした。テスト数日前に放課後、友達と国語の勉強を黒板を使って遊びながらしていた時に先生が現れました。慌ててやめようとした私に「いいのいいの。あつてるわよ。あんた国語の教師にならなさいよ。」と一言。大学に入ってから進路を考える一つの選択肢として私の頭に「教師」がインプットされました。

教育実習開始前、高校時代仲のよかった友達も教育実習生としてくと聞き不安だらけの中にも楽しみが生まれました。県外の大学に進学した私はなかなか高校時代の友達と予定が合わず、会うことが出来ないでいた人もいました。四人はその該当者であと三人は在学中話したことのない人達でした。話したことはないのにお互い昔話をすればわかる話が多く、どこかでは繋がっているのだ

と感じました。実習生控え室はいつも賑やかで今ではこの八人でのぞめたことが嬉しく、二週間頑張りきれたのは実習生仲間がいたからだと思えます。実習生仲間が他にも忙しい時間をさいて電話やメールをしてきてくれた大学の仲間や毎日サポートしてくる大家族にも感謝しています。

実際に教育実習をしてみて、生徒の頃にはわからなかった先生方の姿を目の当たりにすると頭が上がりません。人に教えるということとはとても難しく多くの努力と工夫があるのだと実感しました。

始める前、生徒に対する不安は思いの外大きく顔を見ることができませんでした。しかし、初日の帰り道、初めて授業をした私の隣を自転車に乗りながら「楽しかったです!!」と喋っていた生徒の言葉で次の日の私のパワーはチャージされました。一人でもそう言ってくれる限り頑張りなくちゃと思えました。部活動は初心者ながら美術部にお邪魔しました。日に日に生徒たちとの会話も増え、学校は不安な場所から楽しい場所に変化していき

ました。最終日にはお別れの言葉と色紙、メッセージカードをもらい、違う意味で生徒の顔が見れなくなりました。残念なことには私にきつかけをくれた先生は他校にいらしてしまわれて会うことは出来ませんでした。二週間で素晴らしい体験をさせていただきました。不安ばかりでのぞんだ教育実習でしたが生徒との触れあいはとても楽しく今は寂しい気持ちがいっぱいです。私は学生に戻ります。指導して下さった先生に恥じぬよう、また応援してくれた生徒に恥じぬようにこれからも頑張っていきたいと思えます。



### インターハイに向けて

弓道部長 平野 史華さん

私たち女子弓道部は、新人大会の優勝、全国選抜大会第二位に続き、高総体でも優勝を果たすことができました。

昨年の高総体では、予選での的中はトップだったのですが、決勝リーグ戦でその調子が狂ってしまい、三位という結果で優勝を逃しました。その悔しさをばねにして、今年の高総体に臨みました。三年生にとって引退がかかっている大事な大会でもありました。

予選では、いつもどおりの力を発揮できない所が少しありましたが、まずまずの的中で通過することができ、決勝リーグ戦へと進みました。

六月には東北大会へも出場しました。次はいよいよ八月の佐賀インターハイです。今、私たちはそれにむけて日々練習しています。泉松陵高校女子弓道部の良さはそのまま残り、失敗は成功へ活かせるように努力しながらインターハイでも優勝できるように頑張りますので、今後とも応援をよろしく願います。

### 同窓生からの

### 応援メッセージ

Kouです。私は、第一回生の弓道部でした。優勝おめでとうございます。次のステップは、連覇目指して頑張ってください！

高校総体優勝おめでとう!!! 当時、男子弓道部の部長を務めていましたが、思うように結果が出ず悔しい涙を飲んでしまいました。そして今、後輩の吉報を聞き、みんなの分までがんばって欲しいと伝えたくてメッセージしました。直接応援に行けず残念ですが、横浜の空の下から応援させていただきます。みんなしっかり声だして行こう! 「よしっ!!!」

おめでとうございます! ちなみに私の時代にも東北大会まで行きました。あれから何十年と経っていますが、インターハイだなんてすごい!! 陰ながら応援してますね!

13回生の麻奈美です。優勝おめでとうございます! 母校の活躍をととても嬉しく思います。応援していますのでこれからも頑張ってください!

—ゆっち/13回生

平成18年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計決算書

平成19年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会会計予算書 (案)

収入済額 2,491,976円
支出済額 2,188,094円
差引残額 303,882円

収入の部 2,489,382円
支出の部 2,489,382円

収入の部

(単位 円)

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 会費, 入会金, 年会費, 繰越金, 雑収入, 合計.

収入の部

(単位 円)

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 会費, 入会金, 年会費, 繰越金, 雑収入, 合計.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 予算額, 決算額, 増減, 備考. Rows include 1運営費, 会議費, 旅費, 慶弔費, 需用費, 通信費, 2事業費, 報償費, 会報発行費, 積立金, 3予備費, 合計.

支出の部

Table with 5 columns: 科目, 本年度予算額, 前年度予算額, 増減, 備考. Rows include 1運営費, 会議費, 旅費, 慶弔費, 需用費, 通信費, 2事業費, 報償費, 会報発行費, 積立金, 3予備費, 合計.

収支帳簿並びに証書類を監査の結果、いずれも正確に処理されておりその内容は適正なるものと認めます。

平成19年7月10日

監事 伊藤 治子

監事 守谷美智子

卒業生の進路状況

◎平成18年度卒業生(平成19年3月卒業・24回生)進路

3月28日現在

Table showing career paths for graduates, categorized by gender and destination (University, Short-term University, etc.).

◎大学合格者(延べ数 ○の中の数字は過卒者) 大学はアイウエオ順

国公立大合格者

Large table listing university admission results, organized by university type (National/University, Private) and department.

進路状況 概況

進路指導部長 森 和彦

(1) 大学進学者急増

平成十九年三月卒業生において、私大進学者数が一六〇名を超え、仙台市内では数の上では一番の多さを記録した。これで松陵高校は名実ともに『進学校』として胸を張れる状況になってきたといえる。また、国立大進学者についても、今年度はようやく十名の壁を越え、十二名の合格をみる事ができた。とりわけ、従来は国公立合格者がほとんど推薦入試によるものであったが、今年度はセンター試験での合格者が四名になり、不合格者の中にもかなりの高得点をマークしたのが見られた。全般に、少子化の中で大学合格は容易になっ

(2) 専門学校進学者の減少

この四年間で本校の専門学校進学者の数は四分の一に急減した。大学の合格が容易になったことも大きな理由だが、また、大学においても資格取得や職業人育成、就職指導にかなりの力を入れるようになってきたことが大きい。従来のように「学歴」だけで就職できる時代とはいえなくなってきた中で、大学がそれぞれに独自の取り組みを開始し、就職において大きな成果を挙げていることが評価された結果、専門学校への注目度が下がっているのが実情である。

(3) 就職、公務員

高校卒の求人は相変わらず少ない。そんな中で高校卒の就職内定率も徐々に向上に転じてきているとの報道もなされておる。若干の明るい見通しも出てきている。ただし、全般的に、高卒求人が少ない状況というは、不況というよりも、社会の構造が、すでに高卒の人材を必要としない状況に変化してきていることが理由と考えられる。本校ではそ

の中で希望者の九割が就職の内定をいただく健闘をしている。なお、公務員の合格者も昨年は例年の二倍に伸びている。

(4) 松陵生の特徴

近年、上級学校や企業から『松陵生は素直で前向きである』『学園祭の主力として活躍してくれている』など、高い評価をいただいている。また、この評価は具体的に、指定校推薦枠を増やすという形で、本校から多くの生徒を送ってほしいという形になってきている。一般入試でまだまだ苦戦する場面も多いなか、推薦入試やAO入試で、その素直でまっすぐな人柄を評価され道を開いている生徒も少なくない。また未完成的な、磨けば光り、大きな可能性を秘めている。これが近年の松陵生の特徴と言えるだろう。

同窓会 10年の活動

- 06・7・20 同窓会報第二十三号発行・発送
- 8・8・6 第二回役員会
- 8・8・12 第二十三回総会・懇親会(ホテル白萩)
- 07・2・10 第三回役員会
- 2・28 第二十四回生入会式・同窓会幹事との懇談会
- 3・1 第二十四回卒業式
- 6・10 第一回役員会
- 7月中旬 同窓会報第二十四号発行・発送
- 8・4 第二回役員会
- 8・11 第二十四回総会・懇親会(ホテル白萩)

都合により、泉松陵風信録と編集後記を休ませて頂きました。

平成19年度 宮城県泉松陵高等学校同窓会 総会・懇親会ご案内

日時 平成19年8月11日(土)  
 受付 16:30~17:00  
 総会 17:00~  
 懇親会 17:30~

会場 ホテル白萩 ☎022-265-3411

会費 3,000円



※ 同封のがきに出欠の有無等を記入していただき、50円切手貼付の上7月31日(火)必着にてご返送ください。  
 高校時代の思い出や将来について語り合しましょう。  
 お誘いあわせの上、多数ご参加くださるようご案内申し上げます。

<恩師を囲んで>  
 当日は恩師15名(平成7年度卒業生正副担任)の方々がお見えになる予定です。

同窓会事務局からのお祝い!! 年会費二、〇〇〇円の納入に 二協力を!!

『同窓会報』の全員配布や同窓会活動全般の活性化のためには皆様からの年会費が欠かせません。皆様から頂いたお金は後輩たちのため、我々のつながりを維持し発展させるために大切に使用しております。同封の振込み用紙を利用し、出来るだけ年内中に振込みをお願いします。

同窓会員からのお知らせ

皆様の中で事業を立ち上げている方、芸能活動をしている方、お店を営んでいる方など居りましたら、返信用葉書にてお知らせ下さい。総会の場で、紹介するコーナー等を設ける予定です。

平成十八年度末 教職員人事異動

【転出者】

- 熊谷 邦明 《国語》 宮城一女高へ
- 小嶋 昌典 《英語》 宮城二女高へ
- 阿部 晃 《数学》 宮城野高へ
- 佐々木安志 《地歴》 黒川高へ
- 小林 陽子 《保体》 利府高へ
- 川村 高広 《数学》 泉高へ
- 後藤 三男 《主幹兼事務次長》

仙台市立作並小事務局長へ

田村佳奈子 《主事》 石巻市立鮎川小へ

《常勤・非常勤講師》

- 佐々木佳子 《理科》
- 古村 基宏 《理科》
- 佐々木和之 《保体》
- 峰岡 順 《美術》

【転入者】

- 村松 茂 《数学》 泉高校から
- 小岩 且典 《数学》 宮城二女高から
- 阿部 秀仙 《理科》 仙台三高から
- 石井 厚子 《保体》 利府高から
- 粥川 敬子 《英語》 仙台東高から
- 金 文恵 《主任主査》

泉義務教育課から

佐々木大輔 《主事》 新任

- 《常勤・非常勤講師》
- 三井 幸恵 《養護》 継続
- 伊藤 宣男 《数学》 継続
- 伊藤 瑛子 《理科》 継続
- 武田 智美 《英語》 継続
- 寺島 和広 《情報》 継続
- 門間 洋介 《保体》 新規
- 長内 祐輔 《地歴》 新規
- 藤原 央子 《国語》 新規
- 佐々木美美子 《カウンセラー》 継続
- 佐藤公美子 《カウンセラー》 継続